

第五十九回
帝國議會
貴族院

關稅定率法中改正法律案特別委員會議事速記録第一號

付託議案

關稅定率法中改正法律案

委員氏名

委員長 男爵東郷 安君
副委員長 子爵綾小路 護君
侯爵西郷 從德君
淺田 德則君
室田 義文君
西野 元君
根津嘉一郎君
横山 章君
高廣 次平君

昭和六年三月二十二日(日曜日)午前十一時七分開會

○委員長(男爵東郷安君) 是ヨリ關稅定率

法中改正法律案ノ委員會ヲ開キマス、政府委員ノ御説明ヲ願ヒマス

○政府委員(小川郷太郎君) 關稅定率法中

改正法律案ノ大體ニ付キマシテ、御説明ヲ申上ゲマス、今回ノ改正案ハ人造絹及ビ木材ニ關スルモノデアリマス、先ヅ人造絹ニ關シテ御説明申上ゲタイト思ヒマス、人絹ニ對スル現行稅率、毎百斤百二十五圓ト云フノハ大正十五年一般改正ニ依ッテ定マツタ

ノデアリマスガ、其後大分狀況ガ變化シタノデアリマス、我國ニ於ケル人絹工業ハ爾來寔ニ顯著ナル發達ヲ遂ゲタノデアリマシテ、生産高ノ如キハ大正七年七万六千斤デアリマシタモノガ、昭和五年ニハ二千七百六十万斤トナリ、現在ニ於キマシテハ、世界有數ノ人絹生産國ト云フコトガ出來ルト云フ狀態デアルノデアリマス、而シテ其生産品ノ大半ハ、輸出人絹織物ノ原料ニ使用セラレルノデアリマシテ、人絹製造業ノ發達ハ其製品ノ輸出ニ負フ所ガ少クナイト云ヘルノデアリマス、又人絹ノ輸入狀況ハ如何デアアルカト申シマス、昭和五年ニハ約六十四万斤ト云フコトニナッテ居リマス、併シ是ハ織物ヲ製造シタ上、海外ニ輸出シテ、關稅ノ拂戻ヲ受ケル目的デアラサレタモノガ大部分デアルト認メラレルノデアリマス、右ノ外人絹織物ノ製造ヲ目的トスル保稅工場ニ入りマシタモノガ昭和五年ニハ八十六万斤デアリマス、右ノ事情カラ綜合シマス、今日内地ニ於テ需要サレル人絹ハ主トシテ輸出人絹織物製造ノ爲ニ使用サレルモノデアルト云フコトガ出來ルノデアリマス、ソコデ其輸出人絹織物製造業ノコトデアリマス

ガ、此製造業ハ近來非常ニ發達シテ來タモノデアリマシテ、昭和五年ニハ三千五百万圓ト云フ巨額ナモノヲ輸出シタノデアリマス、是ハ將來有望ナル産業ト認メラレルノデアリマスカラ、原料タル人絹ヲ有利ニ仕入レルコトガ出來ルヤウニサセテ、之ヲ獎勵スルヲ適當トスルヤウニ考ヘラレルノデアリマス、一方人絹ノ現行關稅率ハ前ニ申上ゲマシタ如ク大正十五年ニ改正セラレタノデアリマスガ、人絹ノ市價ガ斯業ノ發達ト共ニ非常ニ下落シマシタ結果昭和五年ノ輸入平均價格ニ對シテハ約八割五分ト云フ高率ニ當ッテ居ルノデアリマス、尤モ保稅工場ト云フ制度デアリマス限リ輸出人絹織物業者ハ之ヲ利用スレバ宜シイト云フコトニモナリマスガ、ソコニドウシテモ保稅工場ヲ利用スルコトノ出來ルモノト出來ナイモノトガ生ジマシテ、其間ニ生産費ノ相違ヲ來スト云フコトニナリ此輸出製造業全體トシテハ誠ニ面白カラヌ狀況ニナッテ參リマス、又保稅工場ノ出願ニ對シ無制限ニ特許イタシマス、内地人絹業ニ重大ナ影響ヲ與フルコトニナリマス、人絹ノ現行關稅率ヲ適度ニ引下ゲテ調和ヲ圖ルコトガ宜

シクハナイカト考ヘラレルノデアリマス、勿論我國ニ於ケル人絹工業ニ對スル影響ヲモ考慮シナケレバナライノデアリマシテ、此際急激ニ關稅率ニ低減ヲ加ヘルコトハ差控ヘナケレバナライノデアリマス、ソレデ政府ニ於キマシテハ右ノ各種ノ事情ヲ考慮ニ入レマシタ上差當リ人絹ニ對スル關稅率ヲ毎百斤七十五圓ニ引下ゲルコトニ致シタノデアリマス、次ニ木材ニ關シテ御説明申上ゲマス、今回ノ改正案ハ輸入稅表第六百十二號已ノ四ニ當リマス、モミ屬、タウヒ屬、マツ屬、カラマツ屬ノ樹種、換言シマスルト、所謂沿海州材等ニ關スルモノデアリマス、此沿海州材等ニ付キマシテハ昭和四年改正當時各種ノ事情カラ他ノ樹種ノ如ク稅率ヲ引上ゲルトカ又ハ新ニ課稅スルコトヲシナカッタノデアリマス、所ガ稅率改正後ノ輸入狀況ヲ見マスルト、針葉樹材全體ニ付テハ約三割九分ノ減ト云フ大勢デアリマスガ、已ノ二ヒノキ屬ハ五十六万六千石カラ二十七万三千石ヘ五割二分、已ノ三ネヅコ屬及ツガ屬ハ五百八十六万石カラ百九十九万二千石ヘ六割六分、已ノ五其ノ他ニ當ル「ダグラスファア」等ハ六百十六万四千石

ヨリ四百一萬八千石へ三割五分ノ減少ヲ示シテ居リマス、之等ハ何レモ前回稅率ノ引上又ハ新規課稅ヲ見タ種類ノモノデアリマス、之ニ反シテ已ノ四ノ所謂沿海州材等ハ百五十三萬九千石ヨリ二百三十二萬四千石へ實ニ五割一分ノ増加ヲ示シテ居ルノデアリマス、右等ノ狀況ヨリ見マスルニ、是ヲ沿海州材等ト他ノ木材トノ間ノ稅率ノ鈞合ヲ得セシムル必要ガアリ尙ホ前回改正ノ際考慮サレマシタ事情モ今日ニ於テハ變化イタシテ居リマスルノデ、適當其稅率ヲ改正スル必要ガアル様ニ認メラレルノデアリマス、右ノ事情ニ依リマシテ、政府ハ輸入稅表第六百十二號已ノ四ニ屬スル木材等ノ關稅等ヲ引上ゲルコトニ致シマシタ、其程度ニ付キマシテハ、大體現行法中ノ已ノ三「ネヅコ」屬及「ツガ」屬ノモノト其内地材ニ及ボス影響ノ程度ガ略、類似シテ居リマスル關係上、丸太及割材ニ致シマシテ已ノ三ニ屬スル樹種ノ丸太割材ノ昭和五年輸入平均價格ニ對スル從價換算率ト同一ノ率ヲ配シ、板材、小角材等ノ製品ニ付テハ現在ノ已ノ四ニ於ケル丸太割材ト製材トノ開キヲ踏襲シマシテ、三分ノ間差ヲ附スルコトニ致シタ次第デアルノデアリマス、尙ホ一言附ケ加ヘテ置キタイノハ、第五十六回帝國議會

ニ於ケル衆議院ノ附帶決議ノコトデアリマス、其趣旨ハ木材ニ關スル改正案ハ、細目ノ點ニ於テ均衡ヲ失スルモノガアルカラ政府ハ速ニ調査ヲ遂ゲ、是ガ改正案ヲ次ノ議會ニ提出スベシト云フノデアリマス、右ノ均衡ヲ失スルト云フコトデ、當時議論ニナリマシタノハ、現行稅率ガ「レッドシダー」ニ輕ク、「ヘムロック」ニ重イト云フ點デアリマスガ、稅率改正後ノ狀況トシマシテハ、「レッドシダー」ト「ヘムロック」トノ輸入減少割合ハ、大體同様デアルト云フ有様デアリマス、又丸太ト割材ニ對シ同一率ヲ盛ルノハ宜シクナイ、是ハ負擔ノ均衡ヲ失スルモノデアルト云フコトデアッタノデアリマスガ、此意見ニ付キマシテモ、「レッドシダー」ト「ヘムロック」トノ關係デ申上ゲマシタト略、同様デアアルノデアリマス、右ノ如キ狀況デアリマスカラ、今日右ノ附帶決議ニ基キ、已ノ三ニ對スル現行輸入稅表ノ分類及稅率ヲ改正スルコトハ、其必要ガナイモノト考ヘルノデアリマス、何卒御審議ノ上御協賛ヲ與ヘラレンコトヲ切望イタシマス

○委員長(男爵東郷安君) 諸君ニオ諮リ致シマスガ、二ツノ問題ガアルヤウデアリマスガ、何ウ云フ風ニ審議イタシテ參リマセウカ、一ツ一ツ別ニヤリマスカ、ソレトモ委員ノ御希望ニ依リマシテ兩方任意ニ願ヒマセウカ

○西野元君 唯今委員長ノオ話デゴザイマシタガ、問題ガ簡單デゴザイマスカラ、兩方各自隨意ニ質問イタシマシテハ如何デゴザイマセウカ

○委員長(男爵東郷安君) ソレデヤ兩問題何レデモ御質問ゴザイマシタラ

○西野元君 唯今政府委員ノ御説明ガゴザイマシタノデアリマスガ、人絹——ニ付キマシテ、内地ノ生産費其他ノ關係ヲ以チマシテ、今回ノ稅率ノ低減ガ必要デアルト云フト、今少シ數字のニ御説明願ヘレバ仕合セト思ヒマス、果シテ内地人絹ガ此程度ノ關稅デ以テ十分ニ外國品ト競争シ得ルモノデアリマスカ、其點ヲ多少懸念イタシマスカラ、御説明ヲ煩ハシタイト存ジマス

○委員長(男爵東郷安君) 主稅局長ハ只今外ノ委員會ニ居ラレマスカラ、矢部技師ノ御説明ヲ願ヒタイト思ヒマスガ、如何デゴザイマスカ

○西野元君 矢部技師カラオ話ヲ伺ハレレバ却ッテ結構デアリマス

○説明員(矢部規矩治君) 只今ノオ尋ネニ對シマシテオ答ヲ致シマス、人造絹ノ内地ノ生産原價ト云フモノガ、只今主ナル四ツノ

會社ヲ平均ヲ致シテ見マシタガ、ソレガ百封度ニ付テ百八圓ニナリマス、固定資本ノ償却、機械建物等ニ對スル償却ガ十八圓ニナリマス、ソレカラ資本ニ對スル利子ヲ年六分ト見マシテ、ソレガ十圓ニナリマス、合セテ百封度ニ付キマシテ百三十六圓ニナリマス、之ニ對シマシテ現在我國ニ入ッテ來マスル外國ノ人造絹ハ伊太利品ガ主ナモノデアリマシテ、伊太利品ノ價格ハ大體ニ於キマシテ百封度七十九圓位ガ普通ノ相場デ入ッテ來マス、所デ稀ニ又七十五圓ト云フヤウナ申出デモアルノデアリマシテ、此計算ニハ内地ノ車業ヲ最モ安全ニ保ッテ行クト云フ方針ノ下ニ、伊太利品ノ方ノ最低價格ヲ取リマシテ、即チ七十五圓ト云フノヲ取リマシテ、之ニ陸揚費ノ二圓、口錢ノ二圓五十錢、合セテ四圓五十錢ヲ加ヘマシテ、七十九圓五十錢ニナリマス、今ノ生産費ノ百三十六圓カラ之ヲ引キマスト五十六圓五十錢ト云フコトニナリマス、之ヲ百斤ニ換算イタシマスルト云フト七十四圓七十四錢ニナリマスカラシテ、稅率ト致シマシテハ之ヲ七十五圓ニ査定ヲ致シタノデゴザイマス、即チ現在ノ百二十五圓ニ對シマシテハ四割ノ輕減ニナリマシテ、七十五圓ト云フモノガ現行稅率ノ六割ニ相當イタシテ居ル

ノデゴザイマス、斯様ニ伊太利ノ絲ノ最モ
低イ所ヲ取りマシタカラシテ、内地ノ人絹
ニ對シマシテハ相當安全ニ出來テ居ルト考
ヘテ居ル次第デアリマス

○委員長(男爵東郷安君) チョット私カラ

今ノ御説明ニ關聯シテ伺ヒマスガ、斯ル御
調査ノ際ニ、現ニ仕事ヲシテ居ル會社ノ生
産ヲ如何ナル標準デオ取りニナルカ、即チ
弱體會社モアレバ、又頗ル成績ノ實質的ニ
良イ會社モアル、即チ生産費ヲ最低ニ取ル
カ、若クハ最高ニ取ルカ、此御標準ハ何處
ニアルノデアリマスカ

○説明員(矢部規矩治君) 現在人造絹ヲ製

造イタシテ居ル會社若クハ既ニ設立ノ計畫
ニ著手シタモノヲ合セマス十社バカリア
リマス、其中極ク上等ノモゴザイマスガ、
又無配當ノモアリマス、色ミアリマスカラ
シテ、其弱イモノヲ除キマシテ、普通大體
此位ガ宜カラウト云フモノヲ四五平均ヲ致
シマシテ、只今ノ數字ヲ出シタノデアリマ
ス

○委員長(東郷安君) 尙ホ伺ヒマスガ、化

學工業ノ性質トシテ日進月歩ノ……頗ル速
カナモノデアリマスルガ、例ヘバ人絹ニシ
テ申シマスレバ、今現ニ「ベンベルグ」ノ會
社ガ出來テ居ルト云フヤウナ譯デ、是等ハ

既ニ製品ガ出來タカモ知レマセヌガ、先ヅ
段々新ラシイ企業ガ出來ルダケ、ソレダケ
生産費ガ低下シテ行ク譯デアリマスカラ、
假ニ生産費ノ最高最低ヲ見ル場合ニ於テ、
寧ロ最近ニ近イ所ヲ見テ行ク方ガ宜イノデ
ハナカラウカト思ハレルノデアリマスガ、
此點ニ付テハドウ云フオ考ヘデアリマスカ

○説明員(矢部規矩治君) 御説ノ如ク色ミ

方法ガアルノデアリマスガ、殊ニ只今御話
ノ「ベンベルグ」ノ如キハ新ラシイ方法ニ屬
シテ居ル、我國ニ於キマシテ最モ普通ニ行
ハレテ居ルノハ「ヴィスコース」法デアリマ
スカラシテ、此稅率モ矢張り「ヴィスコース」
法ニ依テ計算ヲ致シテ居ルノデアリマシテ
「ベンベルグ」「アセテート」等ノ方法ニ依ル
モノハ其產出ガゴザイマス場合ニ考慮スル
積リデ、計算外ニ置イテ居リマス

○委員長(男爵東郷安君) 續イテ伺ヒマス

ガ、然ラバ此種ノ企業ハ性質上生産費ノ算
出ヲ……日進月歩ノ化學工業デアリマスカ
ラ、當然ノ性質トシテ逐次年ヲ趁ウテ、新
ラシイモノガ出來ルニ從テ其低イ生産費
ノ方ニ引カサレテ行ク、例ヘバ只今此關稅
ヲ算出ナサツタ平均生産費ニ對シテ、若シ今
後一年二年經過スルニ從テ益々新規ナ方法
ガ案出サレ、生産費ガ著シク低下スレバ、

逐次ソレニ追從シテ行クト云フ御方針ト承
知シテ宜シウゴザイマスカ

○説明員(矢部規矩治君) 只今ノオ尋ネニ

對シマシテハ無論追從スルコトガ必要デゴ
ザイマスガ、事業ヲ營ンデ參リマスニハ相
當安心ヲサセルト云フコトガ必要デアリマ
スノデ、頻繁ニ改正スルト云フコトハ餘リ
望マシクナイモノト考ヘテ居リマスルガ、
矢張り時勢ニ應ジテ行クコトハ必要デア
ルト考ヘテ居リマス

○西野元君 只今内地ノ人絹ノ生産費等ノ

關係ハ矢部技師ノオ話デ諒解イタシマシタ
ガ、之ヲ他ノ方面カラ見マスレバ、丁度現
在ノ狀況デ約百斤ニ付テ五十圓ダケ引下ゲ
テ尙ホ引合フヤウナ計算ニナツテ居ルモノ
ト致シマスレバ、内地ノ人絹生産業者ト云
フモノハ此關稅ニ依テ約百斤五十圓位ノ餘
計ナ、餘計ト云フコトハ言葉ガ惡イカモ知
レマセヌガ、恩典ニ浴シテ居タヤウニ思ハ
レマス、從テ會社ノ利益ノ計算ニ於テモ相
當狀況ガ現ハレテ居ラナクチャナラヌト思
ヒマスガ、其點ハ如何ニナツテ居リマスカ、
一向不案内デアリマスカラ伺ッテ置キタイ、
會社ノ現在ノ狀況カラ云ヘバ五十圓位餘計
ナ利益ヲ得テ居ルノデアアル、五十圓引下
ゲテ尙ホ相當ナ利益ヲ得ルコトガ出來ルト云

フ計算デアリマスカラ、其利益ノ狀態ガ會
社ノ計算ノ上ニモ相當ニ親ハレナクチャナ
ラスト思ヒマス、當局ノ御所見ヲ承テ置キ
タイト思ヒマス

○説明員(矢部規矩治君) 現在人絹會社ノ

配當ハ八分、或ル會社ハ一割二分、七分五
厘或ハ六分ト云フヤウナ狀態ニアリマスノ
デアリマスガ、此位ノ程度ノ引下ゲデゴザ
イマスルナラバ、大シタ影響ハナカラウト
考ヘテ居リマス、ソレハ只今政務次官カラ
御説明申上ゲマシタ通り、大正十五年ニ之ヲ
制定イタシマシタ時分ニハ、四百六十圓ト
云フ相場デゴザイマシテ、二割七分ニ當ッテ
居リマシタ百五十圓ト云フモノハ……然ル
ニ現在ニ於キマシテハ非常ニ此技術ト云フ
モノガ進歩イタシマシテ、百四十七圓ト云
フヤウナ輸入價格ニ減少イタシマシテ、其
割合ガ八割五分ニモ當ッテ居ルト云フヤウ
ナ高イ稅率デアリマスカラシテ、ソレヲ四
割減少イタシマシタ所ガ、大シタ影響ハナ
イモノト考ヘテ居リマス

○西野元君 少シ斯ウ議論ニ互ルカモ知レ

マセヌガ、若シ内地ノ人絹製造ノ實況ノ上
カラ申シマシテ、關稅ヲ遞減スル餘地ガ十
分デアルト云フ意味合デ、引下ゲルナラバ
是ハ洵ニ日本ノ產業界ノ爲ニ非常ニ結構ナ

コトト存ズルノデアリマス、唯前ノ御説明デチヨット考ヘラレマシタノハ、外國ノアイモノヲ輸入シテ、ソレニ加工シテ外國ヘ賣出ス、今ノ假置場ノ設置ニ依ッテ、之ヲヤリマスノニ其恩典ヲ受ケルコトガ出來ナイモノニ對シテ、都合ガ悪イカラ、内地ノ稅ヲ減ラスト云フコトデアリマス、少シ何ンダカ稅率變更ノ理由モ乏シイヤウニ考ヘラレマスガ、若シ之ガ今ノ加工ノ上、再輸出ヲスルモノ、關係ノ如何ニ拘ハラズ、内地ノ生産ノ狀態ガ、關稅ヲ遞減スルニ達シタト云フコトナラバ、非常ニ結構ナコトデアルト思フノデアリマス、今回御改正ノ理由ガ何處ニアリマスカ、先刻承リマシタ所デハ假置場ノ關係ガ主ノヤウニ伺ハレルノデアリマスガ、ソレナラバ少シ筋違ヒノ議論デハナイカト云フヤウナ氣ガ致シマスノデ、其點ヲ少シ伺ッタノデアリマス

○政府委員(矢部規矩治君) 現在ノ百二十五圓ト云フモノハ輸入價格ニ對シマシテハ割五分ニモ當ッテ居リマス、ソレ故ニ人絹業者ガ同盟ナリ約束ナリヲ致シマシテ、値段ヲ釣上ゲヤウト致シマスルナラバ、百二十五圓ノ保護ノアル所ノモノハ、値段ヲ釣上ゲルコトハ出來ルノデアリマス、然ルニ生産費ガ非常ニ減ジテ參リマシタノデアリマ

スルカラシテ、ソレヲ減ジマシタ所ガ、大シタ影響ハナカラウト思ヒマス、即チ四割ヲ減ジテ六割程度ノ所マデニ致シマスレバ、今度ハ其範圍ニ於テ値段ヲ吊上ゲルト云フコトニナルノデアリマスカラ、大シタ影響ハナカラウト思フノデス、一方保稅工場ト、保稅工場ヲ使ハナイモノトノ間ニ於ケル減少ノ差ト云フモノガ相當ゴザイマス、保稅工場デ仕事ヲ致シマスレバ、安イ絲ヲ外國カラ持ッテ來テ織物ヲ織ッテ出ス、ソレカラ保稅工場ヲ使フコトノ出來ナイモノガ、内地ノ百二十五圓ノ率ノ下ニアル所ノ絲ヲ使フト云フコトニナル、デ保稅工場ノ内外ニ於キマシテ絲ノ相場ニ相當ノ差ガアル、即チソレカラ出來マシタ織物ト云フモノハ、相當ノ差ガアル、デ外國ヘ參リマスレバ、保稅工場ノ中デ作ッタ物ガ、内地ノ絲ヲ原料トシタモノニ、壓迫ヲ加ヘルト云フコトニナリマスノデ、此百二十五圓ト云フモノヲ引下ゲマスレバ、相互ノ間ノ壓迫ト云フモノガ相當緩和サレルモノト考ヘテ居リマヌガ、只今ノ議論カラ申シマスルナラバ、

○西野元君 今討論ヲスル譯デハアリマセヌガ、只今ノ議論カラ申シマスルナラバ、保稅倉庫ノ恩典ヲ受ケルコトノ出來ナイ小サナ輸出業者ニ對シテハ、若シ内地ノ生産ノ狀態ガ只今はダケヲ輕減シテ足リル狀態

デアルナラバ、生産業者ガ輸出ノ目的ニ使フモノニ對シテ、今ノオ話ノ通り價格ヲ相當低下シテデス、ソレダケ輕クナルカラ今マデヨリハヨリ多ク生産セラレマスシ、ソレダケ安く出來レバ經濟上ノ自然ノ原理トシテデス、ソレダケ安く賣ラレテ自然ノ競争ニ堪ヘ得ルト云フ狀況ガアリ得ル譯デア

○室田義文君 此保稅工場ノコトニ付テ衆議院デ何カ條件ト云フノデゴザイマスカ、

何カ問題ガアッタト云フコトヲ聞キマス、筆記ハマダ見テ居リマセヌカラ私ハ分リマセヌガ、政府委員ハ是ハ御承知デアラウト思ヒマスカラ、承ハッテ差支ナケレバソレヲ伺ヒタイト思ヒマス

ノ衆議院ニ於ケル附帶決議デアリマス、確カニ採決ガアリマシタノデス、是ハ衆議院ノ委員會ノ希望トシテ決議セラレタニ止マツテ居ルノデアリマス、決議ノ内容ヲオ話イタクシマス、人絹ノ方ニ付キマシテハ斯ウ云フコトガ決議セラレタノデアリマス、近年我カ國人造絹織物輸出額ノ激増ニ鑑ミ我カ人絹製造工場ヲ獎勵助長シテ益、海外貿易ノ發達ヲ圖ルハ兩者共存ノ所以ナリト認ム然ルニ一部織物業者ニ保稅工場ヲ特許シ内地製人絹ヲ原料トスル多數織物業者ト海外市場ニ競争セシムルハ内地人絹製造業者及前記多數織物業者ノ存立ヲ危クスルモノナリ故ニ政府ハ將來人絹織物業ニ對スル保稅工場ノ新設又ハ擴張ノ特許ヲ與ヘサルハ勿論之カ取締ヲ嚴重ニシ以テ人絹製造ノ發達人絹織物輸出貿易ノ増進ト相互扞格ナキヲ期スヘシ」人絹ニ關スル附帶決議ハソレダケデアリマス、外ノ木材ノ方ニ付キマシテモ附帶決議ガアリマスケレドモ、御質問ハ人絹ノ方ダケト考ヘテソレダケ申上ゲテ置キマス

○室田義文君 今ノ保稅工場ト此關稅問題

ニ付テハ大分關係ガ多イヤウデゴザイマス、今ノ衆議院ノソレニ對シテ政府ハ或場合ニハ此保稅工場ノ方モ期限ガ來ルトカ、

○政府委員(小川郷太郎君) 只今ノ御尋ネ

或ハ何カノ時ハ變ヘテ行クト云フヤウナ御考ヘモアルノデアリマセウカ、政府ハソシナヤウナコトハ御考ヘナクシテ、唯衆議院デ言フタダケノコトニ止マルノカ、ソレヲ一ツ伺ヒマス

○政府委員(小川郷太郎君) 其事ニ付キマ

シテハ實ハ衆議院ノ本會議デモ質問ガアリマシタシ、ソレカラ貴族院ノ本會議デモ東郷男爵カラ御質問ガアリマシテ、大體政府ノ見ル所ヲ其折ニ御答ヘシテ置イタノデアリマス、念ノ爲ニ此處デモウ一應申上ゲマス、保税工場制度ノ目的ハ輸出品ノ原料タル輸入品ニ對スル關稅ヲ徵セナイデ輸出貿易ノ振業ヲ圖ルト云フコトニ相ナリマス、其趣旨ニ基イテ政府ハ大正十二年カラ人絹ノ保税工場ヲ認メテ來テ居リマス、所ガ最近ニナリマシテ其出願者ガ非常ニ續出シテ來タノデアリマス、若シソレヲ無制限ニ特許イタシマスレバ、輸出人絹織物原料トシテ使用セラレテ居ル所ノ内國人絹ガ外國人絹ニ買換ヘラレルコトニナル、又人絹製造業ニ影響ヲ及シマス、更ニ内國人絹ヲ使用スル輸出織物製造業ニモ多大ノ影響ヲ及ボスコトニナリマス、ソレデ此際ハ一面高率ナル關稅率ヲ引下ゲマス同時ニ、地方ニ人絹保税工場ノ新設擴張ニ付キマシテモ慎

重ナル態度ヲ以テ之ニ善處シタイ、サウ云フ風ニ考ヘテ居ルノデアリマス、此事ヲ本會議デ御答ヲシタ次第デアリマス

○西野元君 此案ハ今日初メテ審議ニ這入

ルバカリデアリマシテ、會期モ非常ニ少イノデアリマスカラ極ク短イ期間ニ此決定ヲ致サナケレバナラヌ立場ニ立テ居ルノデアリマス、私平素餘リ注意シテ居ラヌモノデスカラ之ヲ政府ニ伺フノハ筋違ヒデアリマスガ、衆議院ニ於テハ相當ノ期間審議セラレ其間民間當業者ノ色ミ政府ニ對シテノ陳情トカ云フヤウナコトモアリマシタコトト思ヒマス、隨テ之ヲ我ミガ一々サウ云フ意見ヲ聽キ又今日マデノ衆議院ニ於ケル色ノ議論ノ經過等ヲ調査シテ居ル暇ガナイ爲ニ、便宜極ク簡單ニ、民間ニハ斯ウ云フ議論ガアル、是ハ斯ウ云フ風デアル、政府ノ提案ハ差支ナイ、若クハ之ニ依ッテ益、此產業ノ助長ガ出來ルト云フヤウナ御説明ヲ政府カラ承ハルコトガ出來マスレバ我ミハ長イ間研究スベカリシコトヲ此處デ一時ニ伺ヒマスレバ直グ決定ガ出來ル便宜ガアルト思ヒマスカラ、何カサウ云フコトヲ伺フコトガ出來マセウカ、如何デアリマセウカ、大分當業者カラ訴ヘテ參ルモノガアルヤウデアリマスガ、ソナ話ヲ聽イテ居ル暇モ

ナイデスカラ、便宜簡單ニ伺ヘマスレバ仕合セデアリマス

○政府委員(小川郷太郎君) 當業者ノ陳情

ハ色ミアルト思ヒマスガ、大體其利害ヲ異ニシテ居ル關係上ニツノ流レガアルト思ヒマス、一ツハ人絹製造業者デアリマシテ關稅ヲ引下ゲルコトヲ餘リヒドクシテハイカヌ、多少關稅ヲ引下ゲルコトニ付キマシテハ人絹製造業者モ反對ハシテ居ナイト思フノデアリマス、併ナガラヒドク引下ゲルコトハ困ルト云フコトデアリマス、ソレカラモウ一ツ他ノ方面ノ陳情ハ、此人絹ヲ原料トシテ使ッテ居ル所ノ織物業者デアリマシテ、是ハ關稅ヲ成ル可ク多ク引下ゲルコトヲ強ク主張スルノデアリマス、政府案ハ丁度四割位ダケ下ゲル、換言スレバ現行稅率ノ六割程度ノ所ニ迄下ゲルノデアリマスガ、人絹織物業者ハソレデ満足シマセヌデ、モットズツ下ゲテ貰ヒタイ、或ハ半分以上、甚シキハ六割七割ヲ下ゲ現行稅率三割四割ニ當ル所マデ下ゲテ呉レト云フヤウナ主張ヲ有ッテ居ルノデアリマス、人絹製造業者ノ方カラ言フト四割ダケノ引下モ實ハヒドイ、モウ少シ下ゲ方ヲ緩ニシテ貰ヒタイト云フ希望ヲ有ッテ居リマス、此二ツガ違ッタ主張デ政府ノ方ニ迫ッテ來テ居ルノデアリ

マス、ソレデ政府ノ方デ案ヲ起シマシタノハ、一ツハ人絹ノ發達ト云フコトト、一ツハ人絹織物業ノ發達ト云フ兩方面カラ考ヘマシテ、急激ニ稅率ヲ引下ゲルト云フコトハ餘リ宜シクナイ、今日ノ所デハ四割程度ヲ引下ゲルノガ穩當デアル、尙ホ今後ニ於キマシテノ人絹ノ發達ガ進ミマス云フト、尙ホ引下ゲル時期ハアルト考ヘテ居ルノデアリマスガ、今日ハ此程度デ以テ當ヲ得テ居ルト考ヘルノデアリマス、ソレカラ人絹ノ此關稅ヲ引下ゲルコトニ關聯イタシマシテ今當委員會デモ問題トナリマシタ保税工場ノ問題デアリマス、是モ人絹織物業者カラ言ヒマス云フト、保税工場ヲ盛ニ設ケテ貰ヒタイ、此運動ハ激烈デアリマシテ此關稅率法ノ改正ヲ企テル前平常ニ於キマシテ隨分激烈デアッタノデアリマス、併シ今モチヨツト申上ゲマシタヤウナ風ニ此保税工場ヲ無制限ニ特許イタシマス云フト、關稅率法ハ殆ド利カナイコトニナッテ來マシテ、安イ外國ノ人絹ガ這入ッテ來マシテ内地ノ人絹業ガ非常ニ打撃ヲ受ケマス、人絹製造業者ノ方カラ言ヒマス此保税工場ヲ新設又ハ擴張スルコトヲ面白ク思ヒマセヌサウ云フコトノナイヤウニト云フ希望ヲ以テ運動ヲシテ居ッタト考ヘマス、ソ

レガ又衆議院ノ委員會ニモ反映シテ居ルト考ヘルノデアリマス、デ其保稅工場ヲ新設擴張スルニハドウ云フ態度ヲ以テ臨ムベキカト云フコトハ、丁度只今私ノ申シマシタヤウナ態度デ臨ミタイト云フ考デ居ル譯デアリマス、ソレハ大體ノ筋道デアリマス、尙ホ何カ具體的ニ細カイコトニ付テ御質問ガアリマスレバ御答イタシマス、大體サウ云フ筋道デアリマス

○室田義文君 内地デ生産デナイ、内地デ加工シテ輸出スルモノト、ソレカラ外國カラ來テ保稅工場カラ輸入シタモノニ加工シテ出テ行クト云フヤウナ、保稅工場デ積戻ヲスルマデハ預リ物ニナッテ居ル、其高イト云フモノハ近來ドノ位ニナッテ居リマスカ、内地ノ生産ソレハ急ニ御面倒ナモノデアルナラ宜イガ、凡ソ御調ガ付イテ居ルナラバ參考ノ爲ニ伺ヒタイ、内地産ノ……若シ何ナラ今は非伺ハナケレバナラスト云フノデナイ、今日決議ニナル譯デモアリマスマイカラ、明朝デモ宜シイカラ、凡ソノ調査デ宜シイカラ……

○政府委員(小川郷太郎君) 人絹織物ノ輸出額ハ、昭和五年ニ於キマシテ三千四百九十三萬四千九百二十九圓、先ヅ大體三千五百萬圓ニナッテ居リマス、ソレカラ保稅工場

デ積戻シヲシタモノガ百四十九萬六千八百五十一圓、先ヅ約百五十萬程デアリマス

○室田義文君 私共甚ダ素人デ能ク分ッテ居リマセヌノデアリマス、大分茲デ當業者ガ色ミナ者ガ訪ネテ參リマスガ、サウ云フコトモ一ツ聽イテ、若シ差支ナクバ今日ハ此程度デ御止メ下サッテ、幾ラモ來テ居リマスカラ、私バカリデナイ、外ノ御方モサウガラウト思フ、聽イテ見レバ、幾ラカ御尋ネノ參考ニナラウト思ヒマス

○委員長(男爵東郷安君) 速記ヲ止メテ

〔速記中止〕

○委員長(男爵東郷安君) 速記ヲ始メテ

○西野元君 木材ノ關稅改正ニ付テ先刻御話ガアッタノデアリマスガ、大分ハ専門的ニ複雑イタシテ居リマスノデ、私共頭ニ直覺的ニ入リマセヌガ、此改正ニ依ッテドウ云フ方面カラ、ドウ云フヤウナモノガ入ッテドウ云フ風ニナルカト云フコトガ、經濟的ニ何カ商賣的ニ御話ヲ承ルコトガ出來マシレバ大變仕合ト思ッテ居リマス

○政府委員(平熊友明君) 小川政務次官カラ先程理由ヲ説明申上ゲマシタコト重複スルカモ知レマセヌデスガ、其點ハ御了承ヲ願ヒマス、此木材ノ關稅ノ已ノ四デアリマスガ、此已ノ四ハ主トシテ沿海州カラ入ッ

テ來ルモノト、一部亞米利加カラ入ッテ來ルモノトアリマス、ソレガ數量ノ上カラ申シマスト云フト二百三十二萬石バカリ入ッテ居リマス、ソレガ四年ト五年ヲ比較イタシマスト云フト、只今申上ゲマシタ數字ハ五年ノ數字デアリマスガ、四年ニ於キマシテハソレヨリ少カッタノデアリマス、殖エタ率ガ露領カラ入ッテ來マス、即チ沿海州カラ參リマスモノハ二割六分八厘バカリ殖エテ居リマス、ソレカラ亞米利加ノ已ノ四ニ屬スルモノデ、亞米利加カラ入ッテ來ルモノガ十二割八分バカリ殖エテ居ルノデアリマス、ソレカラ現在此已ノ四ヲ除キマシタ木材デ亞米利加カラ入ッテ來ルモノデアリマス、此已ノ四ニ材質用途ガ大體ニ於テ似通ッテ居ルモノハ已ノ三デアリマス、米杉、米梅デアリマス、就中米梅ガ餘程能ク似テ居ルノデアリマス、此米梅ノ如キハ四年度ト五年度ノ輸入量ヲ比較イタシマスト云フト四割二分モ減ッテ居ルノデアリマス、米杉ニ至リマシテハ、四割七分モ減ッテ居ルノデアリマス、其外此已ノ四ニ屬スルモノ以外ノモノハ大體ニ於テ二割七分五厘カラ、今申上ゲマシタ四割七分位マデ五年ハ四年ニ比較シテ輸入ガ減ッテ居ルノデアリマス、單リ先程申シマシタ已ノ四ニ屬スルモノハ二割六分

八厘モ増シ、或ハ十二割八分モ増シテ居ルノデアリマス、何故ニ増スカト言ヒマス、ト、是ハ無稅若クハ低稅アルガ故ニ増シテ來タノデアリマス、無稅若クハ低稅ニシテサウシテ増スコトヲ認メナケレバナラストノ理由ガアルカト云フト今日ニ於テハ更ニ理由ガナイノデアリマス、理由ナクシテ無稅、低稅ニシテ居ルガ爲ニ只今申上ゲマスルヤウナ非常ナ勢ヲ以テ輸入ガ増加シテ居ル、其ヤウニ輸入ガ増加シテ參リマスルカラ内林業者ガ非常ニ壓迫ヲ受ケテ居ル、理由ナクシテ壓迫ヲ受ケテ居ルト云フ形ニナッテ居ル、昭和四年ノ三月木材關稅ヲ一般ニ改正イタシマスル際ニモ今日ノ已ノ四ニ屬スル所ノモノモ稅率ヲ如何ニスルカト云フコトハ無論考ヘタニ相違ナイノデアリマス、其當時ニ於キマシテハ無稅若クハ低稅ニスベキ理由ガアッタガ爲ニ其通りニナッタノデアリマス、是ハハココデハ明瞭ニ申上ゲマセヌデモ事情ハ御承知ノコトト存ジマスルガ、其理由ニ依ッテ無稅若クハ低稅ニナッテ居ルノデアリマス、今日ニ於キマシテハ其理由ガ全然消滅シテ居ルノデアリマス、消滅シテ居リマスルカラ若クハ其當時即チ昭和四年三月關稅全部ノ木材ニ互ッテ改正スル場

合ニ當テ、今日ノ如キ理由ガナカッタ場合ニ、己ノ四ニ屬スル木材ト、己ノ三ニ屬スル木材ト同ジ運命ヲ蒙ッテ居ッタニ相違ナイノデアリマス、今日カラ見マスルト云フト、併シ其理由ガ消滅シタ以上ハ矢張り税ノ均衡ヲ保ツ上カラ申シマシテモ己ノ三ニ屬スル所ノ關稅ヲ標準トシテ相當ノ引上ヲシナケレバ此處ニ非常ナ不公正ガ其儘ニ看過サレルト云フコトニナリマスカラ、一部修正ト云フ意味ニモナリマスガ、一口ニハ税ノ均衡ヲ保タシメルコトガ必要デアル、ノミナラズ此税ノ均衡ガ理由ナクシテ破ラレテ居ルガ爲ニ今申上ゲマスルヤウニ言ハレナク壓迫ヲ蒙ッテ居ル所ノ内地ノ林業家、サウ云フモノヲ壓迫カラ救ヒタイ、サウ云フ意味合モアルノデアリマス、ドウ云フモノガ入ッテ來ルカト申シマスト己ノ四ハ御承知ノ如ク縦屬、「タウヒ屬」、松屬、落葉松屬、此四ツヲ己ノ四ニ入レテ居ル、之ヲ樹種デ申上ゲマスと云フト蟻松、縦松、落葉松、紅松ト云フヤウナモノガ之ニ屬スルノデアリマシテ、其中デモ最モ餘計ニ入ッテ來テ居ルト認メラレマスモノハ紅松デアルヤウニ推定シテ居ルノデアリマス、是ハ樹種ハハッキリ税關ノ方デ書イテアリマセヌカラ分リマセヌガ、推定ノ上カラ言ヒマシテ松屬ト

シテ最モ餘計ニ入ッテ來テ居リマス、此松屬ニハ紅松ガ大多數デアルト私等ノ方デ推定シテ居ルノデアリマス、斯ウ云フモノハ内地ノ競争品トシテハ隨分澤山アルノデアリマス、其内地ノ競争品トシテ澤山アル所ノ紅松ノ如キモノガ今先程申上ゲマシタヤウナ増加率ヲ以テ輸入ガドンドン増シテ來マスコトニナルト云フト非常ナル脅威ヲ與ヘルコトニナル、ソレガ理由ガアッテ入ッテ來ルナラバイザ知ラズ、今申上ゲマスルヤウニ今日ノ實狀ニ於テハ無税若クハ低税ノ爲デ、現行ヲ維持スル理由ガ更ニナイニ拘ラズ、尙ホソレヲ据ヘ置クガ爲ニ隨分入ッテ來ル、サウシテ内地ノ林業家ノ壓迫ヲ盛ンニ續ケテ、脅威ヲ與ヘルト云フコトハ忍ブコトハ出來マセヌ、サウ云フ關係デ今度ノ改正案ヲ出シタ次第デアリマス、數字デ申上ゲマスと云フト露西亞カラ入ッテ來ルモノハ四年ハ百三十九万石、昨年ハ百七十六万石モ入ッテ居リマス、其關係ガ一寸先程申上ゲマシタ二割六分八厘ノ増加ニナッテ居リマス、其己ノ四ニ屬スル縦屬ト云フモノノ中ニ亞米利加カラ入ッテ來ルモノモアルノデアリマス、「ノーブルファー」「シルバーファー」等ト言ハレテ居リマス、サウ云フモノガ四年ニハ二十四万石程デアッタモ

ノガ、五年ニハ五十六万石位ニ二割八分位ノ増加デアリマス、此ヤウナ増加率ヲ以テ進ンデ行クト云フコトハ先程申上ゲマスヤウニ之ニ關スル内地ノ林業家ニ對スル大ナル脅威デアル、而モ理由ナキ脅威デアルノデアリマスカラ、之ヲ救ヒタイ、サウシテ税ノ均衡ヲ保チタイ、斯ウ云フ考デアリマス

○委員長(男爵東郷安君) 本日ハ御質問ハ此程度ニ致シマシテ明日午前正十時カラ再ビ委員會ヲ開クト云フコトニ致シテ御異議ゴザイマセヌカ

〔「異議ナシ」ト呼フ者アリ〕

○委員長(男爵東郷安君) 然ラバ左様取計ヒマス、今日ハ之ニテ散會イタシマス

午後零時五分散會

出席者左ノ如シ

委員長 男爵東郷 安君

副委員長 子爵綾小路 護君

委員

侯爵西郷 從德君

室田 義文君

西野 元君

高廣 次平君

政府委員

大藏政務次官 小川郷太郎君

説明員

農林省山林局長 平熊 友明君

大藏技師 矢部規矩治君

昭和六年四月四日印刷

昭和六年四月六日發行

貴族院事務局

印刷者 內閣印刷局